

今年度重点目標		自己評価				学校関係者評価	
		R4 肯定的 回答の平均 (%)	R3 肯定的 回答の平均 (%)	評価	概要と今後の改善策	評価	
1 授業 の 充 実	(1)「三高トライアングル学習」の強化による「学力育成推進プラン」の推進 (2)新課程を見据えた教材研究・授業改善 (3)試験問題や学習評価の工夫 (4)ICT活用教育の推進 (5)図書館の利活用の推進	71.3	80.0	B	■「授業改善に対する評価」について、生徒の評価は昨年より高くなっている。多くの教科・科目でICT機器を活用した授業が実施されており、授業改善や理解しやすい授業づくりに対する評価と思われる。次年度は、授業等において一人一台端末のより効果的な利活用を進めていきたい。 ■例年実施している「学習時間調査」について、生徒に効果的・効率的な学習方法を助言することができるような方法を模索し、生徒の学習意欲向上につなげたい。また、多様な学力・進路希望を有する生徒を指導する上での仕掛けを、教科主任会・教科会・学年部と連携しながら考えていきたい。	B	■家庭学習の定着については保護者の責任もあると思うが、学校の方で何とか学習意欲が高まるよう導いて欲しい。 ■ICTの利活用と図書館利用の両立・バランスは難しい。「読解力」が大切なので、本を読む習慣は身に付けていってほしい。
2 キ ャ リ ア 教 育 の 推 進	(1)三年間の見通しとねらいの明確化、振り返り (2)地域資源の活用、多様な文化や価値観との出会い (3)教科学習、進路実現との連携	72.7	78.7	B	■教職員・生徒・保護者評価とも「各学年に応じた進路情報の提供」について評価が低くなっている。提供する進路情報が有効に活用できるよう1・2年次から3年間を見通した進路計画の見直しを進めたい。また、教職員を対象とした進路指導研修会の開催などを通して進路情報の共有をはかるとともに系統的な進路指導につなげたい。 ■「未来Ⅰ・Ⅱ」について、昨年度と比較し教職員評価が低くなっている。現在の学習内容を再考し、地域の課題を題材にして探究の基礎を学ぶ内容を入れるなど、より探究色を強める内容への変更も検討したい。また、探究主題を生徒の進路に沿ったテーマで行うことで、生徒自身に探究活動に対する当事者意識を持たせたい。	B	■進路情報は学校から提示されていると思うが、生徒が自分の進路目標を持てるようにしていけるとよい。地域との連携がそのきっかけになると少しずつ評価も高まっていくのではないかな。 ■1年生の地域学習等はよい取組であり、将来的に生徒のU・Iターン者の増加につながると思う。
3 部 活 動 等 の 活 性 化	(1)部活動の活性化 (2)生徒会や生徒会の活動の推進など生徒主体の活動の活性化 (3)異校種や他校との交流の活性化 (4)活躍の機会や場の創出と積極的発信	91	89.6	A	■部活動については、教職員・生徒・保護者とも概ね高評価を得ている一方、保護者からは休養日の設定や帰宅時間についての意見もいただいている。引き続き、部活動のあり方を振り返り、適切な休業日の設定、活動時間の遵守等をはかっていきたい。 ■生徒会の活動として生徒会・JRC部で協働し、昨年度実現した昼休みのパン販売の活動を継続できた。今後も、ボランティア委員会などを中心に活動を進めていきたい。	A	■部活動の活躍は嬉しい。練習風景をよく見かけると「がんばり」がよく伝わってくる。部活動の活躍を情報発信していくことで、学校の魅力が高まっていくと思う。 ■地域でボランティア活動に携わっているが、生徒の皆さんが地域のために積極的に活動に参加してくれていてありがたい。 ■制服の変更は、新しい風を取り入れるという感じでよい。女子のスラックス導入等は画期的といえる。
4 居 場 所 の あ る 環 境 づ く り	(1)支持的風土の醸成 認め合い、高め合い、励まし合い・・・ (2)広い視野と豊かな感性の育成 読書の推奨	83.7	94.1	B	■挨拶の励行や遅刻防止などの生活習慣の育成について、現在行っている身だしなみ指導同様に教職員全体で指導できるような体制を構築したい。 ■制服に関して、生徒・保護者へのアンケートも踏まえ、次年度からのジェンダーレス制服導入を実現した。校則全般についても引き続き見直しを進め、適切な対応について検討していきたい。 ■生徒対象の「図書館を積極的に利用するなど本に親しんでいますか」という質問に関しては全体的に低い数値となっている。図書委員会活動などを中心とした魅力化を図ることはもちろんであるが、授業における図書館の効果的な利用についても各教科と連携を取りながら進めていきたい。また、朝読書については昨年度から廃止になっているが、本に親しむ機会を増やす試みを今後も検討したい。	B	■生徒の進路や興味・関心等の情報提供を考えたよい図書館だと思う。活字離れはあると思うが、学生のうちは本を読んで欲しい。考えるきっかけ、心の素養として読書を勧めて欲しい。 ■生徒の挨拶がとてもよい。大人の方は気恥ずかしくて返せないこともあるが、よい点としてこれからもすすめていって欲しい。
5 安 心 ・ 安 全 な 学 び の 環 境 づ く り	(1)人権教育・道徳教育の推進 (2)生徒理解と組織的な支援 (3)教育環境・生活環境・職場環境の整備と快適化	95.4		A	■「いじめの防止及び早期問題解決」については、昨年度と比較し生徒・保護者とも高い評価となっており、教職員全体で安心した居場所・環境づくりに貢献できたと思われる。次年度も、未然防止、初期対応に繋げられるようにアンケート結果や事案に見える化し、全教職員で共有していきたい。 ■「自他の生命や人権を尊重する態度の育成」については、教職員・生徒・保護者とも高い評価となっている。人権教育活動の内容等については、現状に合ったより良いものに更新していくなど、引き続き人権意識を高めるための効果的な活動を検討していきたい。 ■「個別の教育的ニーズを必要とする生徒への支援」については、特別支援教育に係る校内研修や生徒支援委員会の開催など、担任ばかりでなく他の教員も生徒の特性の理解や支援に努めた。 ■「健康で安全に生活するための学校の支援」については、「保健だより」を毎月刊行したこともあり、昨年度と比較し高評価となった。次年度以降も一層情報発信に努めていきたい。	A	■いじめ防止対策について、生徒・保護者の肯定的意見を100%に近づける努力を継続してほしい。 ■コロナ禍でICTやリモートの活用が増えたことにより、生徒が人間関係をつくりにくくなっているとも感じている。
重点目標以外で評価を求めたい項目		94.4	92.9	A	■昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る緊急連絡に加え、部活動大会結果や各種行事の様子など日々の教育活動について、ホームページや三高メールを利用した情報発信に心掛けた。新ホームページの運用に合わせ、部活動・分掌・学年会・卒業生会等からより多くの情報提供をいただき、広く地域へ、そして中学生に向けても最新でより積極的な情報発信に努めていきたい。	A	■メディアを活用してよく情報発信に努めている。本校志願者が増加したのはその影響も大きいと思う。